

夢の郷つうしん

発行2018年 9月 通巻第42号 発行責任者:日野 昭義
〒514-0818 津市城山1丁目8番16号

Tel 059-238-0303 Fax 059-238-0304

<http://yumenosato.net> mail:yumenosato@aqua.ocn.ne.jp

基本理念:夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせる生活支援を行います。

人権を守り主体性の尊重に努めます。

地域で暮らすための環境整備に努めます。

安心と安全の保障に努めます。

いすず亭及び「ふれあいうどん」等のご案内

1 いすず亭について

いすず亭は、いすず工房（就労継続支援B型事業所）が運営するうどん屋で、平成20年7月から三重県産の原材料によるうどんの製造・販売を行っています。津市城山2丁目交差点に近く第三銀行高茶屋支店を県道114号線で挟んだ前にある15席の小さな店です。

駐車場はありませんが、たくさんのお客さんにご来店していただいております。

天ぷらうどん、健康うどん、肉うどん等の多彩なメニューを全て450円で提供しております。うどん、おつゆ、天ぷらを個別にお買い求めいただくことも出来ます。

猛暑だった今年の夏は、「冷やし天ぷらうどん」「冷やしとろろうどん」が好評でした。

2 ふれあいうどんについて

5月から当法人では、ともすれば人とのふれあいが少ない地元の高齢者を対象として、高齢者のふれあいの場と機会を提供することを目的とする「ふれあいうどん」を地区民生・児童委員様等のご協力のもと始めました。通常価格450円の各種うどんを「ふれあいうどん割引券」ご持参の方に250円で提供しています。ご近所さんやお友達とご一緒に来店いただき、うどんとおしゃべりを楽しまれています。

食事時間等がない場合は、お持ち帰りもできます。5月～8月の4ヶ月では約150人の方がご利用くださいました。

営業日時は、原則として火曜日、木曜日、金曜日の午前10時30分から午後2時までです。仕事に携わる利用者と職員は、お客様に「おいしかった。また来るかね。」言っていただけることを目標に業務に励んでいます。

3 新メニューについて

「鶏南蛮うどん」を新しく始めます。

塩・コショウで炒めた鶏肉・きのこ・青菜・ねぎは、うどん出汁によく合う一品です。

是非一度ご賞味ください。



4 看板のリニューアル

「いすず亭の看板が見にくい。」とのお声をいただき、看板をリニューアルし、文字を大きく見やすくしました。

「玄関前に手すりが欲しい。」との要望を受け、近日中に設置する予定です。



日中サービス支援型共同生活援助事業所「あすか」について

当法人においては、従前から利用者の重度化・高齢化への対応は重要な課題であり具体的な対策が必要と考えており、この度包括型共同生活援助事業のグループホーム「あすか」を日中サービス支援型共同生活援助事業所申請を三重県に行いました。7月25日付で承認を受け、8月1日から事業を開始しました。県内では第1号の取組です。

定員は、従来の7人から1人減の6人となり、緊急入所1人となります。これにより包括型共同生活援助事業の定員は、従来の25人からあすかの7人を除いた18人（内訳：はるか8人、南風荘5人、朝海ハイム5人）となります。

★日中サービス支援型共同生活援助事業とは

障害者の重度化・高齢化に対応するために創設された共同生活援助(グループホーム)の新たな類型で、併せて短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することを目的に平成30年4月から施行されました。

昼夜を通じて1人以上の世話人又は生活支援員を配置することが求められています。

三重県精神障がい者地域移行・地域定着支援事業ピア啓発重点モデル事業・ピアサポート事業) について

当法人では、本年度、三重県よりピア啓発重点モデル事業を受託しました。受託内容は次のとおりです。

- 1 精神障がい者に関する啓発事業
一般県民を対象として、ピアサポーターが主体となり、「笑い」をテーマに、精神障がい者に関する偏見の解消、理解の促進を目的とする啓発
- 2 入院中の精神障がい者の地域移行に係る事業
入院中の精神障がい者がピアサポーターと交流し、体験談を聞くプログラムの実施
- 3 ピアサポーターの活動に係る事業
 - ・ 県内にピアサポーターが集い、ピアサポーターのネットワーク化
 - ・ ピアネットカフェを開催し、ピアサポーターの交流を通じて活動の質の向上
- 4 保健・医療・福祉関係者による協議の場への参加
保健所、市町、団体、精神科病院の地域移行に係る職員会議への参加

★ 精神障がい者に関する啓発事業は、平成31年1月14日(月)フレンテ三重大目的ホールで「第4回お笑いこころサミット」を開催します。よしもと興行とのコラボ企画で、県内の障がい者も演劇等を行います。夢の郷利用者がバックバンドとして大正琴で出演予定です。



一人暮らしインタビュー



Q 1 いつから一人暮らしを始めたのですか。

Sさん アパートに入って3年目に入ります。

Yさん 一戸建て住宅に今年の4月からです。

Q2 一人暮らしをすると決めた時に、一番大変だと思ったことは？

Sさん アパートに自治会があると聞いていたが、ご近所さんとうまくおつきあいができるか不安だった。

お風呂の設置費用が心配だった。

Yさん 家電製品や家具、日用品を揃えるのが大変だった。

Q3 一人暮らしを始めてよかったと思うことは何ですか。

Sさん 部屋が広い、職場に近い、家賃が安い。近所の方から自転車をもらって嬉しかった。

Yさん 周りに気を遣わず、一人で静かでゆったりくつろげる。

Q4 反対に実際に一人暮らしを始めてみて困ったことは何ですか。

Sさん ゴミ出しの分別が難しい。近い将来、自治会の班長が回ってくるので、出来るか不安に思っている。

ハトがベランダに糞をしていくので困る。

Yさん 台風之夜は、1人では心細く、怖かった。

ゴキブリや雑草が多いこと。

Q5 今の暮らしはどうですか。

Sさん 金銭管理は自分でして、小遣い帳をつけている。自治会行事の餅つき大会や清掃活動にはすべて参加している。

Yさん グループホームのときは、掃除や身の回りのことは世話人さんがやってくれたが、今は自分でしなければならないことが多い。

SさんYさんともに、「一人暮らしは、自由だけど責任もついてくる。」と、最後の声です。






絵画の寄贈について


夢の郷の評議員等役員として長年運営等でご協力を賜っている小田千代子様から、ご趣味で描かれた素敵な水墨画（銘 富貴図）を寄贈していただきました。

皆様方の目につきやすいアンダンテ1階和室の壁に掛けましたので是非ともご覧ください。



草の実リハビリテーションセンター(草の実分校)あすなる学園の解体工事について

夢の郷と道路を挟んで立っている旧県立施設である草の実リハビリテーションセンター（特別支援学校草の実分校）及び旧あすなる学園の解体工事が行われます。工事期間は平成30年8月から平成31年3月、工事時間は8：30～17：00です。工事期間中は、町内を大型工事車輛（10トン程度）が通行します。工事箇所の出入口等には交通誘導員が配置される予定ですが、夢の郷ご来所の折には十分注意を払いな



編集後記

今年の夏は、例年以上に猛暑日が連日のように続き体調管理にご苦労されたことと思います。

また、集中豪雨や台風などが被害が多く報道されています。

台風は、今後も発生が予想されていますので、早め早めの準備や対応に努めましょう。

健康・安全第一でお過ごしください。

佐野、林、岡田、清水、河邊、大瀬

